

阿南工業高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)		授業科目	技術者倫理	
科目基礎情報							
科目番号	0004		科目区分		一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		: 2		
開設学科	専攻科共通 (平成30年度以前入学生)		対象学年		専1		
開設期	前期		週時間数		前期:2		
教科書/教材	【教科書】はじめての工学倫理・第3版(昭和堂) 【参考書】誇り高い技術者になろう(名古屋大学出版会)						
担当教員	藤居 岳人						
到達目標							
1. 技術者として社会に貢献するための倫理観を養い、自らの責任について自覚できる。 2. 事例研究やディスカッションを通じて、社会が要求する問題への認識を深め、その解決策を考えられる。 3. 将来「ものづくり」に従事する技術者として、継続して専門的知識を学習するための方法の基礎を実践できる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
到達目標 1		社会における技術者としての責任を十分に自覚し、みずからの倫理観について詳細に説明できる。		社会における技術者としての責任を自覚し、みずからの倫理観について詳細に説明できる。		社会における技術者としての責任についての自覚不足で、みずからの倫理観について十分に説明できない。	
到達目標 2		社会が要求する問題について、有益な自分独自の解決策を考えられる。		社会が要求する問題について、有益な解決策を考えられる。		社会が要求する問題について、十分有益な解決策を考えられない。	
到達目標 3		技術者として継続して専門的知識を学習するためのさまざまな方法を実践できる。		技術者として継続して専門的知識を学習するための方法をひとつは実践できる。		技術者として継続して専門的知識を学習するための方法を十分に実践できない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		「倫理」は本来、他人に押しつけられるものではなく、善悪の境界線を自分自身で考えるものである。それは技術者をめざす諸君も同じである。本講義では、具体的事例からうかがえる倫理的問題の検討を通して、将来、技術者として社会に貢献してゆくうえで必要な倫理観を養うことを目標とする。					
授業の進め方・方法		事例研究の報告は事前に決めておいた学生に担当してもらう予定である。また、事例研究ごとに小レポート・ディスカッションを実施する。					
注意点		事例研究の報告の順によって、シラバスの順が前後する場合がある。					
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	・技術者と倫理と		・社会に生きる技術者として必要な倫理観の概略について、自分の意見をまとめることができる。		
		2週	・技術者と倫理と		・社会に生きる技術者として必要な倫理観の概略について、自分の意見をまとめることができる。		
		3週	・技術者と倫理と		・社会に生きる技術者として必要な倫理観の概略について、自分の意見をまとめることができる。		
		4週	・技術者と倫理綱領と		・事例研究を通して、技術者に関する倫理綱領の概略について考察できる。		
		5週	・技術者と倫理綱領と		・事例研究を通して、倫理問題の解決方法について考察できる。		
		6週	・技術者と安全と		・事例研究を通して、技術者が安全について考慮すべきことを説明できる。		
		7週	・技術者と安全と		・事例研究を通して、技術者が安全について考慮すべきことを説明できる。		
		8週	・技術者と環境と		・環境汚染事故に関する事例研究を通して、技術者が環境に配慮すべきことについて考察できる。		
	2ndQ	9週	・技術者と環境と		・環境汚染事故に関する事例研究を通して、技術者が環境に配慮すべきことについて考察できる。		
		10週	・技術者と消費者と		・事例研究を通して、消費者に対する技術者の責任について考察できる。		
		11週	・技術者と消費者と		・事例研究を通して、消費者に対する技術者の責任について考察できる。		
		12週	・技術者と社会と		・セクハラ・賄賂等の事例研究を通して、技術者と社会全体とのかかわりについて考察できる。		
		13週	・技術者と社会と		・セクハラ・賄賂等の事例研究を通して、技術者と社会全体とのかかわりについて考察できる。		
		14週	・組織で働く者としての技術者		・事例研究を通して、組織の中で働く技術者として守るべきモラル・組織と個人との間の葛藤・内部告発問題等について考察できる。		
		15週	・組織で働く者としての技術者		・事例研究を通して、組織の中で働く技術者として守るべきモラル・組織と個人との間の葛藤・内部告発問題等について考察できる。		
		16週	期末試験答案返却時間				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	定期試験	小テスト	レポート・課題	発表	その他	合計	
総合評価割合	25	0	55	20	0	100	

基礎的能力	15	0	25	10	0	50
專門的能力	5	0	10	5	0	20
分野横断的能力	5	0	20	5	0	30